

会津の歴史新聞

発行 人
●● 小学校
● 年 ● 組

民友 太郎

鶴ヶ城や飯盛山巡る

会津藩の歴史を学ぶ

会津地方は戊辰戦争の舞台であり、会津若松市の鶴ヶ城はその象徴だ。新政府軍の猛攻に1カ月間耐えたが、その後降伏し、明治時代には解体された。しかし

1965年に再建され、天守閣には会津藩や戊辰戦争などの資料が展示されている。

会津武家屋敷は、会津藩家老西郷頼母など藩士の住居や庭園が復元され、当時

の暮らしを見ることができ

る。飯盛山は白虎隊自刃の地であり、墓所や記念館から市内を一望できる。

会津藩士育成の場であった会津藩校日新館も当時往時の姿を今に伝えていて、これらの史跡は、会津の歴史と人々の精神を今に伝える貴重な場所である。



会津のシンボルである鶴ヶ城



会津のソースカツ丼

ソースカツ丼や地酒

会津若松には郷土料理の「こづゆ」や、香ばしい「味噌田楽」などおいしいグルメがいっぱい。人気の「ソースカツ丼」もぜひ味わいたい。地酒も豊富で、食の楽しみも尽きない。

珍しい二重らせん構造

飯盛山に残る「さざえ堂」

飯盛山にはユニークな形のお堂「さざえ堂」がある。正式名称は「円通三匠堂」といい、二重らせん状の構造だ。内部には西国三十三観音像があり、参拝者は右回りに上って左回りに下るといふ、一方通行の不思議なルートを通って参拝する。

さざえ堂は、美しい外観



二重らせん構造のさざえ堂

と、内部の不思議な構造から、多くの観光客を魅了する不思議なスポットとして、多くの観光客が訪れている。

レトロな七日町通り

会津若松市の七日町通りは、明治から昭和にかけての面影を残すレトロな建物が並び、注目を集める。趣ある街並みには地元の老舗蔵元やおしゃれなカフェ、雑貨店が軒を連ね、散策を

楽しむ観光客でにぎわう。市内を周遊するレトロ調バス「ハイカラさん」も運行中で、町並みに溶け込み、観光客の人気の移動手段となっている。



七日町通りを走る「ハイカラさん」

最後の藩主松平容保

会津藩九代目の松平容保は、幕末の混乱していた時代に、京都守護職という重要な役目を任され、新選組を指揮し、江戸幕府を助けていた。

容保は、孝明天皇という当時の天皇に信頼され、誠実で真面目な性格は多くの人に好かれていた。しかし戊辰戦争で会津藩は幕府側に敗北。容保自身も謹慎した。

会津の人々には今も「会津の英雄」として大切に思われている。

編集後記

会津若松の史跡を訪ね、会津藩や戊辰戦争の歴史を学ぶことができた。鶴ヶ城の力強い姿や、飯盛山で白虎隊の話や、当時の人々の気持ちを少し分かった気がします。それぞれの場所に昔の出来事や人々の思いが詰まっています。会津の歴史や文化をもっと知りたいと思いました。そしてこの大切な記憶を未来に伝えていくことの大切さを感じました。